

第2回 奈良市鴻ノ池スケートボードパークに係る
奈良市指定管理者選定委員会会議録

開催日時	令和5年5月17日（水曜日） 午後4時から午後5時まで	
開催場所	奈良市役所 北棟6階 第601会議室	
議題	1. 書類審査（奈良市鴻ノ池スケートボードパーク） 2. 審議 3. 候補者選定	
出席者	委員	馬場委員長、高橋委員、星野委員、池田委員（梅田委員は欠席）
	事務局	北出スポーツ振興課長 脇田課長補佐 宮崎係長 西村 金山
	申請団体	奈良市スポーツまちづくり推進パートナーズ
開催形態	公開（傍聴人0人）	
決定事項	奈良市スポーツまちづくり推進パートナーズを、奈良市鴻ノ池スケートボードパークの指定管理者の候補者として選定した。	
担当課	市民部 スポーツ振興課	
添付資料	採点集計表	

議事の内容

1. 奈良市鴻ノ池スケートボードパークの指定管理者選定に係る書類審査

- 奈良市指定管理者選定委員会規則第5条に基づき、申請団体である奈良市スポーツまちづくり推進パートナーズの職員に本委員会への出席を求めた。

- 委員による意見及び質問

（委員） スケートボードパークに入場定員は設けるのか。

（申請団体） 利用者のけが防止のため入場定員は設けたい。利用者には利用者登録を求め、習熟度に応じて人数割りをを行うことを考えている。

（委員） 人員配置計画には管理責任者、運営スタッフが各1名、その他運営スタッフ8名と記載されているが、収支予算書の人件費の中には日中1名、夜間2名と計上されている。収支予算書の人件費は、人員配置計画のどこに充てられるのか。

（申請団体） 人員配置計画は陸上競技場の事務所に既に配置されている人員も含んだ記載になっている。事務所には金庫があるため、現在、陸上競技場の18時から21時までの夜間の利用がある場合は、責任者と運営者の計2名を常駐で配置している。スケートボードパークは供用時間が21時までのため、現状よりも夜間の利用が増加すると見込まれ、現状の人員を夜間にあてがうと日中の人員が不足するため、新たにアルバイトを2人雇用する予定をしている。収支予算書にはこの2人分の人件費を計上している。

（委員） この事業で新たに雇用を増やすということか。それは何名か。

（申請団体） 正職員は現状の人数のままで、アルバイトを2人ないし3人雇う。

（委員） 2ないし3名の人数割り当てで安全が確保できるということの根拠は。

（申請団体） 1人は監視モニターを常時チェックし、残り2人は受付や電話対応を行う。さらに約1時間に1回の巡視も行うため安全性を確保できると考えている。

- (委員) 安全管理が最も重要視されるべきと考えるが、監視モニターでも見落としはある。1時間に1回の巡視の頻度も適当であるか定かでない。事故は現場で発生するため、周囲の人がすぐに通報できるようなシステムは考えているのか。
- (申請団体) 登録時に利用者の情報を記録し、また、手首に巻いてもらうバンドに電話番号ないし個人が特定できる情報を記入するなどして周囲の方が事務所に通報できるように考えている。また、現場に事務所が無い場合、類似施設の運営で培ったノウハウを活かしてオープン前にスタッフ教育を行い、安全な管理体制を構築していきたい。
- (委員) 類似施設での管理実績があるとのことだが、それらの施設の管理システムに準じているのか、それとも無駄を省くことで、かえってリスクは上昇しているのか。
- (申請団体) 類似施設ではスケートボードパークに隣接して事務所があるため状況は異なっている。管理体制として、ヘルメット着用等を義務付けることで事故の防止に努めたい。
- (委員) 管理体制が類似施設に比べ手薄になってしまうのであれば、事故が起こった時の対応などリスクマネジメントを徹底したルール作り及び周知を行い、利用者の協力も含めて安全な管理体制を構築した方が良いのではないかと考える。それが、事故防止や対応の早さにつながると考える。
- (委員) 陸上競技場の事務所とスケートボードパークが離れているため、不正に入場される可能性がある。対応策として着用を義務付けるリストバンドは、事務所で料金を払って借りて、終わったら事務所に返すという形式か。
- (申請団体) 他にも事務所から離れた施設を管理しているが不正に入場されたことは無い。オープン当初の巡視の頻度を増やす。リストバンドは使い捨てだが、利用後に返却を求めることで出場者を把握する。
- (委員) 雨が降った場合の使用はどうか。
- (申請団体) 雨天の場合はおそらく利用者がいない。急な悪天候時は利用中止を呼びかける。
- (委員) 予算の利用料金収入が0で、レンタル品使用料が2点とあるが、どういう意味か。
- (申請団体) 現在市と協議中ではあるが、他施設と同様の備品貸出の方法を考えており予算は計上していない。備品は有料貸出を行う予定である。
- (委員) 備品の持ち込みは可能か
- (申請団体) 可能である。利用者の持ち込みが多いと聞いているが、初心者向けに備品購入のアドバイス等のサービスも行いたい。
- (委員) 管理棟が建設されると仮定した場合、現状の予算で管理棟に1名を常駐させられるか。
- (申請団体) 社内で協議するが人件費の増額が無いと難しい。市と協議したい。

2. 審議

採点集計の結果を基に審議を行い、申請団体が選定の基準を全て満たしていることを確認した。

3. 候補者選定

奈良市スポーツまちづくり推進パートナーズを、奈良市鴻ノ池スケートボードパークの指定管理者の候補者として選定した。

なお、奈良市指定管理者選定委員会審査要領第4条第3項に基づき、利用者の安全に十分留意して管理運営していただきたいとの意見が付された。